



特別集談会



2023年 12月 6日 (水) 18:00~

どうする？小児の手術室外鎮静・鎮痛：

一麻醉科医の視点から小児医療従事者に知っておいてもらいたい事

An anesthesiologist's perspective on pediatric procedural sedation and analgesia in Japan: how should we come along?

小原 崇一郎 先生 東京都立大塚病院麻醉科 麻醉科
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科

日本の現状では、慢性的な麻醉科医不足や全身麻酔より過少な診療報酬といった諸問題のもと手術室外の検査・処置時の鎮静・鎮痛（procedural sedation and analgesia: PSA）の施行者として麻醉科医の直接的関与の増加をすぐに期待するのは難しく、その実践の多くを麻醉科医ではない医療従事者に委ねざるをえません。PSAに伴う有害事象は防ぎ得るという認識のもと、諸外国の麻醉科医は、ガイドライン策定や教育体制構築、社会的環境整備など間接的にも関与し、小児医療従事者と協働でPSAの成功率の向上や有害事象発生率の減少を目的とする効率的かつ安全な体制構築に貢献してきました。

日本でも麻醉科医の関与のもとで小児PSAプラクティカル・ガイドの作成が進んできています。今回、近年の知見をもとに ① PSA前評価やモニタリング、薬剤の選択などにおいて留意していただきたいこと、 ② PSAの成功率向上や有害事象予防のために麻醉科医が直接的関与を考慮したほうがよい状況、を一麻醉科医の観点からお話し申し上げます。ご聴講くださる方々の自施設での課題解決の一助になれば幸いです。

Web(Cisco Webex)にて開催

興味のある方はどなたでも
お気軽にご参加下さい！



パソコンでの参加用URLをご希望の方は、下記アドレスにご連絡下さい

◎ 小児科医局 内5954

◎ e-mail: secretary-ped@med.hokudai.ac.jp